

自ら学び 豊かな心で たくましく生きる生徒



しただの郷学園
下田中学校便り第11号
令和4年2月17日発行

文責 校長 小林貴英

ホームページではカラーでご覧いただけます。

卒業式と高校受検 両者の成功を目指す

「卒業合唱と高校受検の両者を成功させることが難しい…」こんな世の中になることを、これまでだれが想像したことでしょうか。新型コロナウイルス感染症の脅威が続く状況下、市内全学校の卒業式での国歌、校歌、卒業記念合唱は歌わないことが決まりました。中学校においては、感染したり濃厚接触者に特定されたりした場合に高校受検への影響が大きいことを考慮すると、事前練習を含めた歌唱の中止はやむを得ないという判断です。卒業生、在校生、教職員、保護者すべてが残念な気持ちですが、進むしかありません。

この時季の3年生には、卒業に向けて自分たちの最後の絆を強め、しっかりと締めくくろうという気持ちが湧きます。例年であれば、その気持ちを卒業合唱に取り組むことで実現してきました。今年度、それに代わるものを残りの限られた時間を出していくのは難しいかもしれません。どんな形になろうとも、卒業生が満足感を抱き、笑顔で卒業していく場を、全校が一丸となって創り出していきます。

卒業式における感染症対策

- ＜今年度からの措置＞
- ・御来賓の人数減
 - ・時間短縮（来賓祝辞と記念品贈呈省略）
 - ・卒業記念合唱実施なし
 - ・式後、保護者は教室へ行かない
 - ・在校生の廊下での見送りなし

- ＜昨年度と同様の措置＞
- ・会場の常時換気
 - ・間隔の広い座席
 - ・国歌、校歌は清聴
 - ・保護者控室なし※直接式場へ
 - ・時間短縮（告示、式辞、送辞は短め）



3年生 卒業式練習開始 (2.10)



心構え / 礼法指導

書初め



1年生



2年生



3年生

スマホの世界を生き抜くために

スマホのトラブル発生

先日、ある保護者の方がご自分のお子さんの様子がおかしいことに気づき、そのおかげでスマホを通して発生していた交友関係のトラブルが判明しました。大人が気付いていない事案がほかにもありそうです。保護者の皆様、気付いてあげてください。



子どもたちはスマホの世界で何をしているのでしょうか。そのすべてを知ることは不可能です。スマホ等の使用に限ったことではありませんが、意思をもった子供の言動をコントロールする方法はあるのでしょうか。私はこれだと思います。

『正しいことを言葉で伝え、あるべき姿を行動で示す(見せて真似させる。)』

それでも、子どもは成長過程で失敗することがあります。その都度、伝え、示すことを繰り返すしかありません。家庭と学校がそれぞれの立場で、成長を後押ししましょう。

冰山（海面の上と下）をイメージして考えてみます。

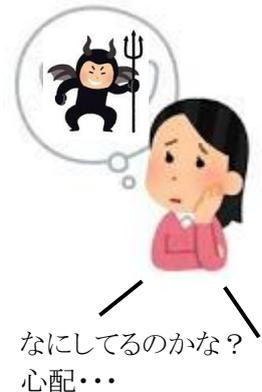
言動に現れる部分

しかし、実際に何をしているかは見えにくい。



言動を支える部分

日頃のかかわりが大切。極論ですが・・・ここがしっかりしていれば、スマホ等の使用における管理は不要。



こんな風にしたら
どうだろう。
正しさを教える

こんなときは
どうすればいいかな。
ともに考える

それは絶対にダメ！
ときに毅然と

頑張ってるね。その調子！
認め、励ます

スマホ等の ICT 環境下では、動画視聴の世界、誰かとコミュニケーションをとる世界、自分を誰かに見せる世界、調べものをする世界等があります。それぞれにおいて、楽しみながらも注意することは何かについて、大人から子供まで皆がしっかりと理解しておきたいものです。